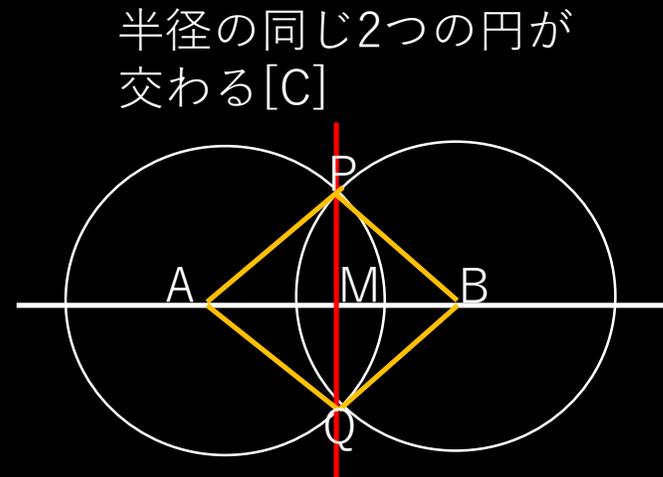
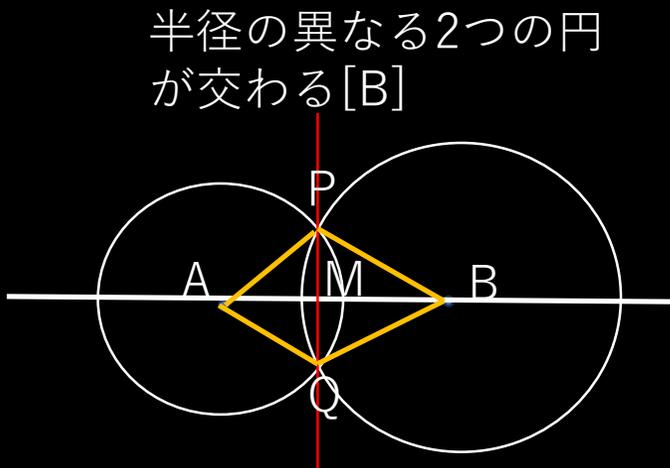
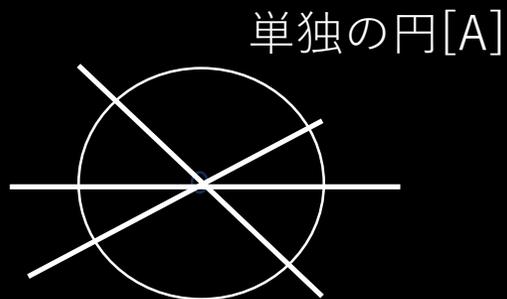


# 基本の作図



## [性質]

1. 円は、円の中心を通るどの直線(直径)についても  
線対称な図形

2. 中心Oと円周上の点は同じ距離(半径)

1. 両方の円の中心を通る直線ABについて線対称な図形

2.  $\triangle ABP \equiv$  (合同: 重なる)  $\triangle ABQ$   
線分AP = 線分AQ、線分BP = 線分BQ、  
線分AB共通

3. 直線AB  $\perp$  直線PQ  
この性質を利用して直線ABに  
垂線がひける

4. 補足  
 $\angle PAM = \angle QAM$ 、 $\angle PBM = \angle QBM$   
線分PM = 線分QM

1. 両方の円の中心を通る直線ABについて線対称な図形  
さらに、2つの交点を通る線分PQについても線対称な図形

2. 線分AM = 線分BM  
左記[B]の性質に加えて、線分AM = 線分BMがくわわること  
で、直線ABに垂線二等分線がひける